

平成 28 年 10 月 11 日

会 員 各 位

一般社団法人
福井県臨床検査技師会
生物化学分析部門
部門長 東 正浩

生物化学分析部門研修会のお知らせ

拝啓

時下、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は技師会活動にご理解ならびにご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。生物化学分析部門では下記のとおり研修会を開催いたします。ご多忙のことと存じますが、お誘い合わせのうえ多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

日 時 : 平成 28 年 11 月 19 日 (土) 14:00~16:30

会 場 : 福井赤十字病院 栄養管理棟 2階 研修室

演 題 ① : 抱合型の分別定量可能な直接ビリルビン測定試薬と標準化

講 師 ① : 本田 亨 (株)LSI メディエンス)

☆ 内容は次ページ

【50 分】

演 題 ② : 自動分析装置に供給する純水の基礎と検査への影響

講 師 ② : 金沢 旬宣 (メルク株式会社)

☆ 内容は次ページ

【90 分】

★ 次回は 12 月 17 日 (土)・福井赤十字病院で採血 (採血管) をテーマにした研修会を予定しております。

日本臨床検査技師会の規定により、①日臨技+福臨技 0円 ②福臨技のみ 500円 ③非会員 1000円 となりました。

【問合せ先】 市立敦賀病院 検査室 東 正浩

TEL 0770-22-3611 (内線 4240)

【生涯教育】 専門-20 点

生物化学分析部門

① 抱合型の分別定量可能な直接ビリルビン測定試薬と標準化

～ 内 容 ～

血清ビリルビンの測定は、肝胆道疾患や溶血性黄疸などの診断、治療とその予後判定に重要な項目の一つです。

血清中には大別して非抱合ビリルビンのほか抱合ビリルビンやアルブミンが共有結合した δ (デルタ)ビリルビンが存在します。従来、ビリルビンはジアゾ法の反応性に基づいて、直接ビリルビンと間接ビリルビンに分類され、これらの測定値によって病態解析が行われてきました。しかし、従来の直接ビリルビン試薬は、血清中に存在する抱合ビリルビンのみではなく一部の非抱合ビリルビンや δ ビリルビンとも反応することが HPLC 法の解析の結果、明らかになっています。

現在国内では、血清ビリルビンの直接ビリルビン試薬はジアゾ法の反応性に近似した化学酸化法や酵素法、HPLC 法の分別性に近似した特異的酵素法など測定原理によって反応性が異なるため、臨床上混乱を招きかねません。

平成 27 年日本臨床化学会では血清ビリルビン分別定量の標準化プロジェクトが立ち上がり、非抱合及び抱合ビリルビンを選択的に測定可能な試薬を標準化とすべき活動をおこなってきており、閉塞性黄疸や肝実質機能障害時の病態を反映できる試薬が望ましいとされています。

今回は、特異的酵素法を測定原理とした試薬の特長を中心に、他法との反応性の違いや標準化の動きについて説明させていただきます。

② 自動分析装置に供給する純水の基礎と検査への影響

～ 内 容 ～

臨床検査において純水は検査側から解析される機会が少なく、「水は検査に影響する」という噂レベルで語られてきました。しかし近年の報告で純水の水質が検査結果に明確に影響を及ぼすこと、最新の純水精製技術により検査結果が安定化することが報告されています。

講演では検査に影響を及ぼす水に含まれる4つの不純物と検査への影響について説明を行います。

また、CLSIの臨床検査試薬水の規格を紹介し、国内ではまだ制定されていない規格について考えます。純水装置について、逆浸透-イオン交換方式と逆浸透-電気イオン交換 (EDI) -紫外線 (UV) 方式を比較したデータを紹介します。EDI方式では Caを代表とする電解質のばらつきが安定し、UVやフィルターで処理することで細菌を低く抑え分析装置のトラブル低減につながります。

高純度で安定的な水は検査精度を高いレベルに維持します。今後は検査精度を語る上で「純水」は見過ごしではならない大きな要素になると考えます。